



令和6年7月
横浜市立恩田小学校
TEL (961) 7651
FAX (961) 6014



恵みの雨

校長 山根 淳一

長雨の候、地域・保護者の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

5月31日から6月1日まで、私は六年生と一緒に修学旅行に出かけてきました。例年、多くの子どもたちが卒業文集で小学校での大切な思い出として記すことの多い修学旅行。今回も子どもたちにとって、良い思い出となる行事になったことと思います。

今回の修学旅行で私は、例年のない光景を目の当たりにしました。それは華厳の滝でのことです。いつもなら中禅寺湖から流れ落ちる豊富な水量により、遠く離れた観瀑台まで無数の水しぶきが降ってくるほど迫力のある姿を見せてくれていたのですが、今年の華厳の滝を見て、目を疑いました。水が落ちてこないのです。いやよく見ると、ホースから水を流しているのではないかと思うような、細い糸のような水の筋が三本垂れているだけでした。こんな華厳の滝を見たのは初めてでした。地元の方に話を聞くと、今年は冬場に降る雪が少なく、また春先も雨が全く降らなかったため、滝の水源となる中禅寺湖の水位が大きく低下していることが原因とのことでした。

降るべき時に雪や雨が降らないと、このようなことになってしまうのかと衝撃を受けました。

関東地方は6月21日に梅雨入りが発表されました。例年より二週間ほど遅い梅雨入りです。それに関わらず、梅雨明けは平年並みかそれよりもやや早いという予報が出されています。田植えを済ませた農家の方から、このまま雨が降らないと、川の水量が減り、水を田に汲み上げられなくなるという話を伺いました。「恵みの雨」という言葉がある通り、作物を育てる方々にとっては、雨が降ってくれるということはとても大切なことです。

一方でこの時期は「天気痛」に悩まされる方も多いと先日の新聞で報じられていました。気圧の変化が原因となって引き起こされる「天気痛」は、頭痛、肩や首のこり、関節痛、腰痛などを引き起こしたり、古傷の痛みがより強くなったりすることが一般的な症状のようです。このような「天気痛」に悩まされる方々にとっては、梅雨はきっと辛い時期であろうと想像します。

私は冬の寒さがとても苦手です。手足が指先まで冷え切ってしまいます。なので春の温かな日差しがとても待ち遠しいです。同じように、梅雨がなければいいのと思う方もいらっしゃると思います。しかし今降る雨は「恵みの雨」であり、作物が育つためにはどうしても必要な雨であると捉え、必ずやってくる梅雨明けをもうしばらくの間、待っていただけたらと思います。

熱中症が心配な季節になりました。感染症対策のため、マスクが手放せない児童もいると思いますが、例えば登下校時や体育の学習時、また休み時間に校庭で走り回る時はマスクを外し、体内に熱がこもらないようにするなど、熱中症への対策も行っていきたいと思っています。ご家庭でもぜひ話題にいただけますようお願いいたします。